

令和7年夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：課長補佐
氏名：田中 康成

受入課室等名	文化庁政策課			
募集学校種	☒ 大学院 ☐ 高等専修学校 ☒ 大学 ☐ 高等学校 ☐ 短期大学 ☐ 中学校 ☐ 高等専門学校 ☐ 問わない ☐ 専門学校			

(○がマークされている部分が希望学校種となります)

令和7年夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：総務係長
氏名：中野 皓介

受入課室等名	文化庁文化資源活用課			
募集学校種	☒ 大学院 ☒ 大学 ☐ 短期大学 ☐ 高等専門学校 ☐ 専門学校 ☐ 高等専修学校 ☐ 高等学校 ☐ 中学校 ☐ 問わない (○がマークされている部分が希望学校種となります)			
受入時期	7月28日(月) ~ 8月1日(金)		受入人数	1人
受入期間	1週間		(受入時期内の合計受入数)	
選考時の面接の実施予定	予定あり ○ 予定なし ○			
受入条件	・実施場所は文化庁京都庁舎(京都府京都市)となることに留意し、期間中は京都庁舎に登庁すること。 ・パソコン(ワード、エクセル、パワーポイント等)の基本操作ができること。			
実習内容	・文化財保護行政の総論(組織、法令、予算等)の学習 ・文化財の保護に関する学習 ・世界文化遺産・無形文化遺産等に関することの学習 ・文化財調査官等の業務の補助 ・研修プログラムの開発・提案			
受入課室等紹介	文化資源活用課は、文化財建造物・記念物等の活用や世界文化遺産・無形文化遺産等に関する業務を担当しています。 【文化資源活用課の主な業務】 ○文化財の保存及び活用に関する総合的な政策の企画及び立案 ○文化財建造物、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の保存及び活用に関すること ○文化財の防災及び防犯に関すること ○文化財保存活用地域計画の認定及び支援に関すること。 ○ユネスコ無形文化遺産・世界文化遺産、海外修復協力に関すること。			
受入課室等からの一言	京都移転した文化庁での業務となります。政策課、文化財第一課、文化財第二課のプログラムとも連携して実施しますので、文化財行政を網羅的に知ることのできるプログラムとなっています。			

令和7年夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：総括係長
氏名：米岡 亜依子

受入課室等名	文化庁 文化財第一課			
募集学校種	☒ 大学院 ☒ 大学 ☐ 短期大学 ☐ 高等専門学校 ☐ 専門学校 ☐ 高等専修学校 ☐ 高等学校 ☐ 中学校 ☐ 問わない (○がマークされている部分が希望学校種となります)			
受入時期	7月28日(月) ~ 8月1日(金)		受入人数	1人
受入期間	1週間		(受入時期内の合計受入数)	
選考時の面接の実施予定	予定あり ○ 予定なし ☒			
受入条件	・実施場所は文化庁京都庁舎(京都府京都市)となることに留意し、実施期間中は庁舎に登庁すること。 ・パソコン(メール、ワード、エクセル等)の基本操作ができること。			
実習内容	・文化財保護行政の総論(組織、法令、予算等)の学習 ・文化財の保護に関する学習 ・世界文化遺産・無形文化遺産等に関することの学習 ・文化財調査官等の業務の補助 ・研修プログラムの開発・提案			
受入課室等紹介	文化財第一課は、建造物以外の有形文化財(絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料)、無形文化財、民俗文化財(有形、無形)、文化財の保存技術の保存等に関する業務を担当しています。			
受入課室等からの一言	京都移転した文化庁での業務での業務となります。政策課、文化資源活用課、文化財二課のプログラムとも連携して実施しますので、文化財行政を網羅的に知ることのできるプログラムとなっています。			

令和7年夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：総括係長
氏名：堤 恭子

受入課室等名	文化庁文化財第二課			
募集学校種	☒ 大学院 ☒ 大学 ☐ 短期大学 ☐ 高等専門学校 ☐ 専門学校 ☐ 高等専修学校 ☐ 高等学校 ☐ 中学校 ☐ 問わない (○がマークされている部分が希望学校種となります)			
受入時期	7月28日(月) ~ 8月1日(金)		受入人数	1人
受入期間	1週間		(受入時期内の合計受入数)	
選考時の面接の実施予定	予定あり ○ 予定なし ○			
受入条件	・実施場所は文化庁京都庁舎(京都府京都市)となることに留意し、期間中は京都庁舎に登庁すること。 ・パソコン(メール、ワード、エクセル等)の基本操作ができること。			
実習内容	事務系、調査系双方の業務内容説明、事務作業補助といった座学に加え、適宜会議の傍聴や現地見学などを交えて実習を行います。 ・文化財保護行政の総論(組織、法令、予算等)の学習 ・文化財第二課の所掌事務の説明 ・事務業務等補助 ・会議等の傍聴 ・指定文化財や文化施設の見学 ・研修プログラムの開発・提案			
受入課室等紹介	文化財第二課では、文化財のうち建造物、伝統的建造物群、史跡、名勝、天然記念物、文化的景観、埋蔵文化財を所管しており、文化財の国指定、選定に向けた調査や、保存・活用に係る指導等を行っています。 職員の8割が近くが専門的な知識、技術を有する文化財調査官であり、建造物や遺跡をはじめ、我が国の歴史・文化を今に伝える貴重な文化財の保護に取り組んでいます。			
受入課室等からの一言	専門的な知識や技術は不要です。また、文化庁政策課、文化資源活用課、文化財第一課とも連携して実施しますので、広く文化財行政について学べるプログラムとなっています。 歴史や伝統、文化財の保護に興味のある方の参加を歓迎します。			

令和7年夏期文部科学省におけるキャリア実習及びインターンシップ受入計画

指導担当者役職：課長補佐
氏名：中田尚樹

受入課室等名	文化庁国語課			
募集学校種	☒ 大学院 ☐ 高等専修学校 ☒ 大学 ☐ 高等学校 ☒ 短期大学 ☐ 中学校 ☒ 高等専門学校 ☐ 問わない ☒ 専門学校 (○がマークされている部分が希望学校種となります)			
受入時期	7月28日(月) ~ 8月8日(金)		受入人数 (受入時期内の合計受入数)	1人
受入期間	2週間			
選考時の面接の 実施予定	予定あり	☐		
	予定なし	☒		
受入条件	国語施策に関する専門的な知識や技術は必要ありませんが、Word、Excel、PowerPointを使えること。			
実習内容	国語課では、下記の「受入れ局課室紹介」欄に記載している様々な業務を行っています。 具体の業務については、参加者の御希望等も考慮して計画しますが、会議の準備・傍聴や事業のための配布資料の編集、施設見学等に従事いただく予定です。			
受入課室等紹介	国語課は、国語の改善及びその普及に関すること、アイヌ語の継承並びにアイヌ語に関する知識の普及及び啓発に関することを所掌しています(外国人に対する日本語教育は所掌していません)。具体的には、文化審議会国語分科会の事務局、国語問題研究協議会の実施、「国語に関する世論調査」の実施、危機言語・方言サミットの開催、アイヌ語アーカイブ作成支援など、幅広く国語施策・アイヌ語に関する業務を担当しています。 【主な業務】 ☐ 文化審議会国語分科会に関すること ☐ 国語問題研究協議会に関すること ☐ 国語に関する世論調査に関すること ☐ 消滅の危機にある言語、方言の保存・継承に関すること など			
受入課室等からの 一言	国語施策に関する専門的な知識や技術は必要ありません。国語施策に関心があり、意欲のある積極的な方の参加をお待ちしております。			